



令和元年度決算・令和2年度予算執行状況

すながわの 家計簿



関 財 政 係
TEL 54-2121

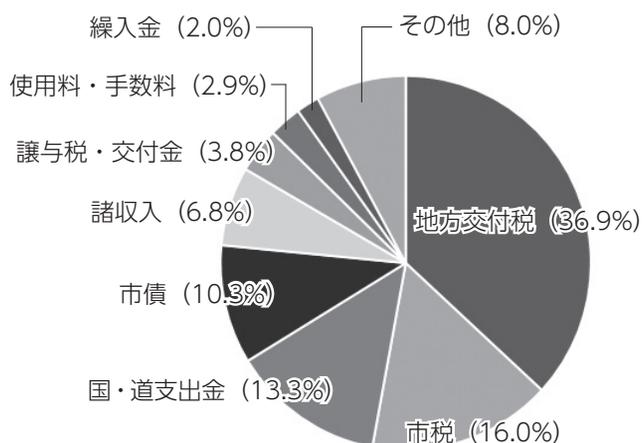
市では、皆さんから納めていただいている市税などの収入をもとに、さまざまな仕事（事業）を行っています。それがどのようなことにどれくらい使われているかなどを知っていただくため、毎年財政状況を公表しています。今回は、令和元年度決算および基金や市債の状況、令和2年度予算の12月末までの執行状況をお知らせします。

令和元年度一般会計決算状況

歳入

決算額 **130億7,646万円**

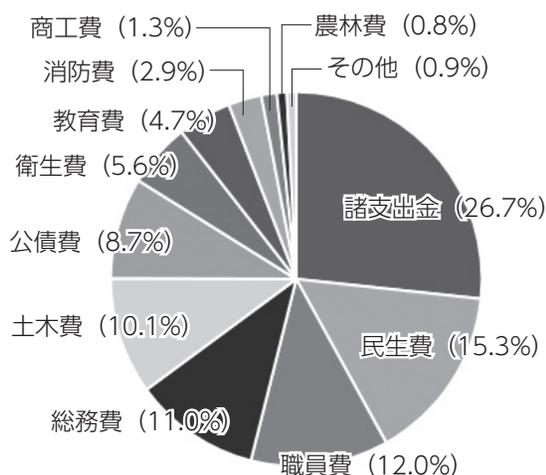
市の収入である歳入は、国や北海道から交付される地方交付税や国・道支出金、譲与税・交付金などの依存財源が64.3%と全体の7割近くを占めています。将来にわたり安定的な財政運営を行っていくためにも、市税などの自主財源の確保が重要となっています。



歳出

決算額 **126億6,447万円**

市の支出である歳出は、市立病院や後期高齢者医療保険、国民健康保険などに支出している諸支出金が26.7%を占めています。続いて、生活保護や福祉医療、子育て支援などに使われる民生費が15.3%を占めています。



科 目	主な内容	決算額
地方交付税	財源が不足する市町村へ国が配分するお金	48億2,203万円
市 税	市民税や固定資産税	20億9,473万円
国・道支出金	特定の事業に対して、国や道が支出する補助金	17億4,729万円
市 債	市の借入金	13億4,350万円
諸 収 入	貸付金元利収入	8億9,307万円
譲 与 税 交 付 金	地方譲与税、地方消費税交付金	5億932万円
使 用 料 手 数 料	住宅・体育施設使用料や住民票・ごみ処理手数料	3億7,418万円
繰 入 金	貯金（基金）の取り崩し	2億6,133万円
そ の 他	財産収入、繰越金	10億3,101万円

科 目	主な内容	決算額
諸 支 出 金	市立病院などへの支出	33億7,862万円
民 生 費	福祉サービスや子育て支援	19億3,303万円
職 員 費	職員の給料・手当	15億1,986万円
総 務 費	情報推進・選挙事務経費	13億9,371万円
土 木 費	道路・公園などの整備、市営住宅の維持管理	12億8,183万円
公 債 費	市が借りたお金の返済	11億779万円
衛 生 費	ごみ収集や健診経費	7億508万円
教 育 費	学校や社会教育の振興	5億9,462万円
消 防 費	広域消防組合の負担金	3億6,701万円
商 工 費	商工や観光の振興	1億7,024万円
農 林 費	農林業や畜産の振興	1億374万円
そ の 他	議会費・労働費	1億894万円



市の財政を家計にたとえてみると



市の財政をより身近に感じられるように、令和元年度一般会計の決算額の構成率をもとに、ある家族の年間収入が300万円の家計簿を作成しました。

収入			支出		
給料 〔市税、交付税〕	… 52.9%	159万円	食費 〔職員費〕	… 12.0%	36万円
家族の収入など 〔諸収入、使用料など〕	… 17.7%	53万円	医療費 〔民生費〕	… 15.3%	46万円
実家からの仕送り 〔国・道支出金、交付金〕	… 17.1%	51万円	生活費 〔衛生費、教育費など〕	… 27.2%	82万円
ローンの借り入れ 〔市債〕	… 10.3%	31万円	家の補修・増改築 〔土木費〕	… 10.1%	30万円
貯金の取り崩し 〔繰入金〕	… 2.0%	6万円	子どもへの仕送り 〔諸支出金〕	… 26.7%	80万円
			ローンの返済 〔公債費〕	… 8.7%	26万円
合計 300万円			合計 300万円		
返済後のローン残高 305万円					



市民1人あたりに使われたお金



 議会費 議会の運営など 5,900円	 民生費 福祉の充実など 116,077円	 衛生費 清掃や保健対策など 42,339円	 農林費 農林業の振興など 6,230円	 商工費 商工・観光振興など 10,223円	 土木費 道路整備や除雪など 76,973円
 消防費 消防車の整備など 22,039円	 教育費 教育施設の管理など 35,706円	 公債費 借入金の返済など 66,522円	 諸支出金 病院への繰り出しなど 202,884円	 職員費 職員の給料など 91,266円	総務費 83,691円 その他 642円

※金額は、一般会計の決算額を令和2年3月末人口16,653人で割ったものです。

総額 760,492円



市の貯金と借金



令和元年度の市債残高は前年度に比べ、一般会計では2億9,751万円増加しました。これは、庁舎建設に係る公共施設等適正管理推進事業債などの借り入れによるものです。

■基金（貯金）の状況

基金の種類	総額
財政調整基金	12億7,828万円
庁舎整備基金	10億3,157万円
減債基金	9,634万円
まちづくり事業基金	4億9,482万円
社会福祉事業振興基金	3億5,635万円
特別会計基金	2億2,431万円
計	34億8,167万円

■市債（借金）残高の状況

	一般会計	企業会計		総額
		下水道事業	病院事業	
H30年度	125億8,455万円	40億6,018万円	134億3,054万円	300億7,527万円
R1年度	128億8,206万円	37億1,136万円	128億7,632万円	294億6,974万円
増減	2億9,751万円	△3億4,882万円	△5億5,422万円	△6億553万円



財務書類からみた令和元年度の決算状況（一般会計）



令和元年度決算について財務書類を公表します。財務書類は民間企業が作成する決算書と同様の考え方で作成されており、単年度収支では見えてこない市の資産や負債およびコストに関する情報が明らかになっています。

1 貸借対照表（市が保有する資産や将来返済する借金の状況などがわかります）

年度末に市が保有している資産（財産）と、その資産を取得するための財源（負債、純資産）を示しています。資産の多くは学校などの公共施設や道路・公園などの公共インフラにより構成される有形固定資産が資産全体の8割以上を占めており、負債に計上されている地方債はこれらの公共施設や公共インフラの整備の財源とされた借金の残高です。

◆貸借対照表（令和2年3月31日現在） ※前年度との比較

（単位：百万円）

科目	H30年度	R1年度	増減額	科目	H30年度	R1年度	増減額
固定資産				固定負債			
有形固定資産（学校、道路など）	37,054	36,796	△ 258	地方債(翌々年度以降に返済する借金)	11,539	11,804	265
投資および出資金（三セクなどへの出資）	1,235	1,242	7	その他	652	590	△ 62
基金（将来の支出に備えた貯金）	2,223	2,414	191				
その他	222	362	140	流動負債			
流動資産				地方債(翌年度に返済する借金)	1,046	1,078	32
現金預金（市の財布の中にあるお金）	494	461	△ 33	その他	208	176	△ 32
基金（お金が足りないときに利用する貯金）	1,278	1,278	-				
棚卸資産（市が管理する分譲地）	578	430	△ 148	負債合計	13,445	13,648	203
その他	20	20	-	純資産合計	29,659	29,355	△ 304
資産合計	43,104	43,003	△ 101	負債および純資産合計	43,104	43,003	△ 101

令和元年度末現在で市が保有する資産の合計は約430億300万円で、これは過去から現在までの間に形成した資産の合計額を表しています。固定資産に記載されている基金については約1億9,100万円増加していますが、まちづくり事業基金が約1億1,400万円増加したことが主な要因です。流動資産に記載されている棚卸資産については、分譲地の売却により約1億4,800万円減少しました。また、負債は約136億4,800万円で、これは将来世代が負担していくことになります。

2 行政コスト計算書（市が市民に行政サービスを提供するために1年間に発生したコストがわかります）

市が1年間に市民へのサービスを行うために発生した費用と、このうち市民が直接的に負担した使用料などの収益を示しており、その差額を純行政コストとして算定しています。このコストは市民からの税金や国・道からの補助金により賄われています。

◆行政コスト計算書（平成31年4月1日～令和2年3月31日） ※前年度との比較

（単位：百万円）

科目	H30年度	R1年度	増減額	科目	H30年度	R1年度	増減額
人件費（職員の給料など）	1,829	1,833	4	使用料および手数料(市営住宅の家賃など)	384	372	△ 12
物件費等（除雪や施設維持などの経費）	3,076	3,208	132	その他	102	289	187
補助金等（消防・ごみ処理などの経費）	1,259	1,262	3				
社会保障給付（自立支援給付金や児童手当など）	1,513	1,540	27	経常収益合計 イ	486	661	175
他会計への繰出金	2,494	2,585	91				
その他	137	177	40	臨時利益 工	1	24	23
経常費用合計 ア	10,308	10,605	297	純行政コスト アーイ+ウーエ	9,830	10,073	243
臨時損失 ウ	9	153	144				

臨時損失が約1億5,300万円発生していますが、これは貸借対照表に棚卸資産として計上している市有地を帳簿価額より安く売却したことにより売却損が発生したことが主な要因です。

3 市民1人当たりだとのくらい？

市が保有する資産や借金の状況、1年間に発生するコストを市民1人当たりで換算すると右記のようになります。

項目	H30年度	R1年度
人口（年度末）	16,912人	16,653人
資産	254万8千円	254万3千円
負債	79万4千円	80万7千円
純資産	175万3千円	173万6千円
純行政コスト	58万1千円	59万6千円



令和元年度企業・特別会計決算状況



■企業会計

病院事業	収入	支出
収益的収支	137億7,991万円	143億2,204万円
資本的収支	9億6,941万円	14億852万円

下水道事業	収入	支出
収益的収支	7億7,700万円	5億5,494万円
資本的収支	1億8,564万円	5億4,118万円

●病院事業の収益的収支不足分は病院建築に伴う多額の減価償却費の計上によるものです。また、資本的収支不足分は内部留保資金により補てんされており、健全経営を行っています。

■特別会計

会計名	歳入	歳出	会計名	歳入	歳出
国民健康保険	20億9,854万円	20億3,052万円	後期高齢者医療	5億9,848万円	5億9,844万円
介護保険	18億3,250万円	18億1,996万円			



令和元年度決算に基づく健全化判断比率など



地方公共団体財政健全化法に基づきいずれの指標も基準値を下回っています。実質公債費比率は、前年度より0.1ポイント高い4.7%となっていますが、前年度に引き続き低い比率で保っています。

指標	健全化判断比率				資金不足比率	
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	下水道事業	病院事業
説明	一般会計などの赤字状況	すべての会計を合算した市全体の赤字状況	市の収入に占める借金の返済状況	市が将来負担しなければならない借りたお金などの状況	公営企業の収益に対する資金不足額の状況	
早期（経営）健全化基準	14.17%	19.17%	25.0%	350.0%	20.0%	20.0%
砂川市の比率	(赤字なし)	(赤字なし)	4.7%	23.2%	(不足なし)	(不足なし)

令和2年度会計の執行状況 (令和2年12月末現在)

▶一般会計

◆歳入

科目	予算額	収入済額	執行率
地方交付税	47億2,300万円	47億5,064万円	100.6%
国・道支出金	44億5,397万円	32億2,757万円	72.5%
市債	41億8,580万円	0万円	0.0%
市税	20億2,510万円	14億4,255万円	71.2%
諸収入	8億9,678万円	3,215万円	3.6%
繰入金	7億1,924万円	0万円	0.0%
譲与税・交付金	5億9,476万円	4億1,115万円	69.1%
使用料・手数料	3億7,732万円	2億5,189万円	66.8%
その他	5億8,911万円	6億8,741万円	116.7%
計	185億6,508万円	108億336万円	58.2%

■一般会計とは…市税や地方交付税を主な収入財源として、行政運営の基本的な経費や事務事業を網羅して経理する会計です

▶特別会計

会計名	予算額	収入済額	執行率
国民健康保険	21億9,165万円	12億4,882万円	57.0%
		14億3,375万円	65.4%
介護保険	19億7,232万円	10億6,609万円	54.1%
		12億2,216万円	62.0%
後期高齢者医療	6億3,334万円	4億4,639万円	70.5%
		4億4,431万円	70.2%

■特別会計とは…特定の事業や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計と区別して経理を行っている会計です

※市の財政状況は市ホームページでも公表していますのでご覧ください。

◆歳出

科目	予算額	支出済額	執行率
総務費	43億5,871万円	14億3,819万円	33.0%
民生費	38億9,593万円	31億4,180万円	80.6%
諸支出金	34億3,404万円	19億1,623万円	55.8%
職員費	15億1,689万円	11億1,795万円	73.7%
土木費	14億2,871万円	7億8,900万円	55.2%
公債費	11億3,226万円	5億7,158万円	50.5%
教育費	10億2,730万円	7億2,269万円	70.3%
衛生費	6億2,113万円	4億2,030万円	67.7%
消防費	4億6,379万円	3億381万円	65.5%
商工費	3億7,534万円	2億5,048万円	66.7%
農林費	1億9,258万円	1億274万円	53.3%
議会費	1億141万円	7,878万円	77.7%
その他	1,196万円	794万円	66.4%
計	185億6,005万円	108億6,149万円	58.5%

▶企業会計

下水道事業	予算額	執行済額	執行率	
収益的	収入	7億8,889万円	4億6,184万円	58.5%
	支出	5億5,170万円	1億382万円	18.8%
資本的	収入	1億9,497万円	686万円	3.5%
	支出	5億7,946万円	3億3,595万円	58.0%

病院事業	予算額	執行済額	執行率	
収益的	収入	148億7,948万円	97億5,310万円	65.5%
	支出	150億7,973万円	98億5,897万円	65.4%
資本的	収入	10億396万円	4,933万円	4.9%
	支出	15億5,314万円	10億245万円	64.5%

■企業会計とは…株式会社など民間企業の会計手法を取り入れ、独立採算制を原則とする会計で病院の場合は診療収入などにより運営しています